

■「効果の見える治水事業」

香川県 吉張海岸(さぬき市)の高潮対策事業

香川県土木部河川砂防課長 阿部 孝雄



吉張海岸は、香川県東部にあるさぬき市の北部に位置し、北側には小豆島、東西を大串岬と馬方鼻によって囲まれており、近くには大串自然公園がある自然・景観性豊かな海岸であり、海岸保全区域の延長は376mです。

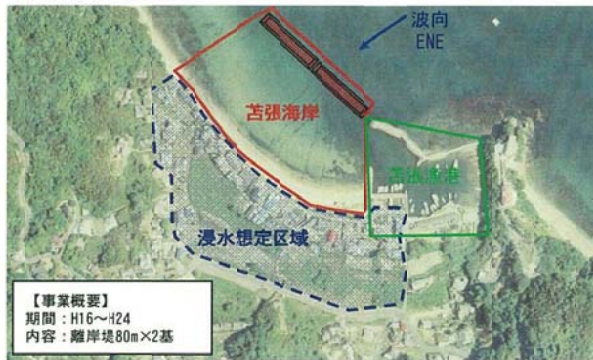
また、当海岸に隣接して吉張漁港があり、漁業や海苔養殖が盛んな地域です。

海岸の背後には、狭小な地域に多数の人家があり、公民館や地元就労の中心施設である海苔加工工場が密集して存在しています。昭和30年代から昭和50年代にかけて、砂浜が後退したことにより、コンクリート護岸が整備されているものの、近年の冬季風浪や異常気象時の高波浪により、度重なる越波被害を受けていました。特に、平成15年に来襲した台風16号によって、県下の多くの地域で既往最高潮位を更新し、当海岸をはじめ県下のほぼ全域で高潮や越波による甚大な被害が発生しました。

これらを受けて、背後の越波被害防止を図るため、平成16年度から事業に着手しました。事業計画にあたっては、既設護岸の高上げでは護岸天端と背後地の高差が約3mとなり、景観性や利便性が悪化することから、離岸堤を選定しています。

また、当海岸の隣には吉張漁港があり、沖合を船舶が航行しているため、航走波を離岸堤が反射し航行に支障が生じないように、スリットケーソン式の離岸堤としています。

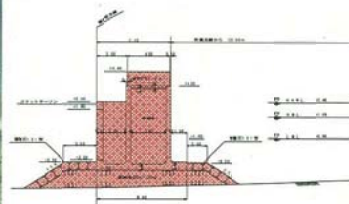
本事業は平成24年夏頃の完成を予定しており、完成により越波被害の軽減など地域住民の安全安心に寄与するものと期待されています。



位置図



離岸堤標準断面図



災害に強いまちをつくる



香川県さぬき市長 大山 茂樹

さぬき市は、平成14年4月1日の合併から10周年を迎えました。この節目となる機会をとらえて、将来に向かって、「夢」と「希望」あふれる更なる飛躍につながる合併10周年記念事業を実施します。

記念事業では、さぬき市の良さと魅力を幅広く発信することで、市民の皆さんにもっと市への愛着感を持ってもらうこと、また、市外の皆さんには、本市をよりよく知っていただき、定住や交流の地として好感や関心をもってもらうことなどを目指しています。

また、本市では、「さぬき市総合計画後期基本計画」を策定し、平成24年度からこれに沿ったまちづくりをスタートさせています。その施策の一つである、「暮らしを支える安心・快適なまちづくり」施策の中で、市民の生命と財産を守る安全・安心なまちをつくるという目標を掲げ、災害に強いまちをつくるという基本戦略の下、現状と課題を踏まえ、次の事項に取り組みます。

- 1 防災計画等の整備と避難体制の確立
- 2 自主防災組織の育成
- 3 消防団の育成
- 4 常備消防との連携強化
- 5 消防施設の計画的更新
- 6 危機管理情報伝達システムの整備



さぬき市マスコットキャラクター「さっきー」

併せて、平成24年度の河川改修事業において、市管理河川である「弁天川」及び「幸田川」の底打コンクリート工並びに一部護岸の修復や法面整形等の工事を実施します。これらの工事により、流下能力低下の解消など、治水機能が向上され、台風や大雨時の越水や浸水被害などが減少することで、住民の安全が確保されることが期待されます。

現在、市では、避難訓練、非常用備蓄物資の確保、資機材の充実、自主防災組織充実への支援、防災無線の整備、災害情報の携帯電話等のメール配信などを行っています。今後、更に地域防災力の向上を図るため、自助、共助、公助それぞれの観点からの手法を取り入れ、自主防災組織による活動の促進をはじめ、災害発生時の初動マニュアルなども組み込んで地域防災計画を見直すとともに、防災対策全般の強化を図り、住民の生命と安全を守りたいと考えています。